

# 入院中や自宅療養時でも学校の友達と一緒にオンラインで授業参加したい



▲事例解説動画

【学校】小学校 / 【きっかけ】保護者からのご相談 / 【準備期間】約2か月

長期の入院治療や体力回復のための自宅療養中も、地元の小学校の友達とのつながりや交流活動を大切にすることで、辛く苦しい治療に対して前向きに取り組む意欲や、復学に向けての学習意欲も高まると考えられています。各学校に配備されたタブレット端末や高速大容量の通信ネットワークを活かして、病院や自宅などの遠隔地からも病気療養児が学校の授業に参加できるよう遠隔授業の実施に多職種が連携して取り組んだ小学校の事例をご紹介します。

- ☑相談から打ち合わせ実施までスムーズな相談・連絡・調整
- ☑技術面の困難なところに支援が入ることで実現可能性がUP
- ☑児童本人の体調や気持ちに合わせた柔軟な対応

ご家族と  
WEB面談

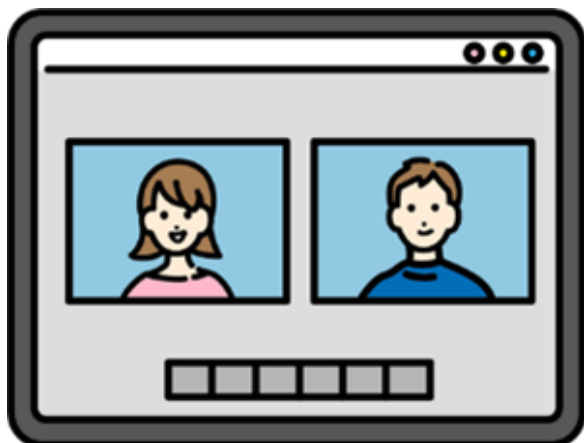
学校での  
調整会議

通信機器  
動作確認

授業での  
中継開始

学校での調整会議は、まず初めに保護者はもちろん児童本人の希望や願いを共有することが大切です。「学校の授業に参加したい」「友達と話したい」といった気持ちの確認をしていきます。

その後、実際の教室に移動してパソコンやカメラを設置する場所、ネット通信環境、使用するソフト、保護者との連絡方法、同級生への説明方法などを教頭先生や担任の先生、情報担当の先生と打ち合わせをしていきます。細かな調整と確認ができた後に、通信テストや動作確認の日程調整に入ります。



動作確認当日は担任教諭と技術担当スタッフで、児童と GoogleMeet にて接続するまでの準備から通信開始までの流れを確認しながら進めていきます。事前に保護者には担任教諭から接続方法を説明頂いており、スムーズにテレビ通話を開始できました。

通常の授業と並行して遠隔で出席するため、板書された文字が見えるか、先生の声が聞こえるかなど、所属するクラスの教室で動作確認を行い、問題がある点は技術担当スタッフがアドバイスしていきます。

## 【児童生徒の変化】

通信テストもかねて教室と繋いだ際に、クラスの友達にも児童が自宅から参加する旨が伝えられており、友達が画面に向かって手を振ったり、名札を見せたり、展示作品や教室紹介をするなど交流を楽しんでいる様子が見られました。

初回は恥ずかしくてカメラの前で顔を見せることはなく、保護者が代わりに返事をしたり、ぬいぐるみで応答したりしていました。「顔を出すのが恥ずかしい。様子を見ながらできると良い」という児童本人の気持ちをくみ取りながら、学校現場で柔軟に対応しました。

また、中継されている音楽の授業で、音符をワークシートに記入する際には、本人の声で「できました」と発言があったり、授業の最後には保護者を通じて席替えをした自分の席を確認する交流の場面も見られました。



Chromebook 内蔵の WEB カメラやスピーカー & マイクでは画質や音質に限界があるため、外付けできるスピーカーフォンなども試験運用しながら、改善を続けています。

できる限り、学校現場にあるものを活用して運用できるようにネットワーク環境や Chromebook など教育委員会とも確認しながら準備～実現までスムーズに進んだ事例となりました。

児童の「学校の授業に参加したい」「友達と話したい」などの気持ちを学校関係者の方や教育委員会の方が汲み取り、支援実施に至りました。遠隔授業を実施する際の課題であった機材の選定や扱いについても、専門的サポートが入ることで解消でき、保護者と学校とのやり取りも円滑で、担任や管理職の先生方も「児童のために」と一体感が生まれていたようでした。学校とのつながりや距離感が良好なことで児童自身が闘病しながらも充実した生活になっている様子を感じられました。

## 【市町村教育委員会からのコメント】

長期療養中の児童の復学支援として、同時双方向型授業が行えるよう、長期療養児支援充実事業を活用しました。実際にポケットサポートの方が学校を訪問し、ICT 機器の貸し出しや設置、接続の仕方等の助言をいただいたことで、同時双方向型授業を実現することができました。学校からは「360°撮影可能なカメラがあることで、本人の希望を聞きながら、黒板や友達の様子など、必要なところを映すことができた。」「グループでの話合いに、本児も映像を見ながら参加することができた。」等の報告を受けています。また、映像を通して、授業の様子や友達の声に触れることができ、教員や友達との距離が縮まり、復学に向けての不安が少なくなっています。登校できる日や時間が徐々に増えるなど、本取組の大きな成果を感じています。

自宅療養する児童の体調に合わせて、自宅から授業に参加できる場合には、学校に配備されている Chromebook を使い GoogleMeet で自宅の端末とオンライン中継することで授業参加できるようにしています。

授業中の発言や休憩時間中の会話など、同級生とのコミュニケーションも楽しんでいる姿があり、児童も楽しみながら学習できています。

